

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			車椅子使用児童が多いため、多少狭さは感じるが、内容により多目的室やテラスなどを使用するなど活動場所を限定しないことで工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			医療的ケア児童、肢体不自由児童が多く、移動時や職員欠席時には人手が足りなくなるが、多機能事業所の利点を生かして連携を図っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			建物全体がバリアフリー化されている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			支援会議や日常的な会話の中から課題と改善策を常に話し合っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートや面談等による意向調査を基に行事やプログラムなどを検討して、取り入れている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			昨年度より法人ホームページ上にて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価については予算上受審が困難な現状であるが、必要性は感じているため前向きに検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年2回の法人研修と専門的な外部研修を受講している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			原則6ヶ月に1回保護者とのモニタリング面談、また日常での会話の中からアセスメントを実施。それを基に計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを活用し、利用児の状況把握に努めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			支援員、看護師とで利用者の状態や課題を確認しながら、目的を持ったプログラムを立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			静と動の活動を組み合わせるようにし、利用者が楽しんで活動へ参加できるように工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇時はサービス時間が長く、平日の課題設定だけでなく、外出・買い物・調理等を設定し、きめ細やかに対応している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の課題、集団での課題を抽出して計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼を実施。体調等の変化などを考慮し、打ち合わせは適宜実施。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後には、その日の利用者の様子で気付いた点等を必ず共有するようにし、次の支援に繋がるようにしている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画に基づいた項目ごとに記録を残し、その日にどのようなことに取り組み、何ができた、あるいはできなかったのかを振り返り、支援内容の改善を図っている。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			原則6ヶ月に1回のモニタリング、面談を実施。また状態像の変化等に応じて、適宜モニタリング・面談を実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			個々の課題に合わせた活動を、複数組み合わせさせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当職員を参画させている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校の予定や利用者の学校での体調不良等での状態変化については、原則保護者を通じて把握している。その他気になる点がある場合は、保護者への確認後、学校へ直接問い合わせる場合もある。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			法人の要綱に則り、保護者の申請手続き後、主治医より意見書および指示書を受けて医療的ケアを実施。また、事業所内で実施した医療的ケアについては、毎月書面にて主治医に報告している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保護者を通じて成育歴も含め幼児期の情報を収集している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			移行会議の実施事例あり。今年度は対象者がいないため移行会議は未実施。同法人の障害福祉サービス事業所へ移行した方については、適宜情報を提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		事業所から直接問い合わせることはしておらず、必要時には、定期通院、訓練等の様子を保護者を通じて情報共有をしている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	時間帯や立地環境等により実施できていない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			市内の放デイ連絡会には参加している。また、法人連絡会等には事業所としてではなく、法人として参加をしている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳を通してや送迎時に直接活動の様子などを伝えている。また、必要に応じて面談を設定したり、電話をしたりするなど、積極的にコミュニケーションを図るようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			積極的にコミュニケーションを図り、会話の中から困りごとや悩み事を拾い助言や情報提供に努めている。
保護者への説明書	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時に契約書や重要事項説明書に基づいて、丁寧に説明している。また、必要に応じて、改めて書面にてお知らせしている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や面談時に、家庭での状況などを聞き取り、その都度必要な助言や支援をしている。

責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者やきょうだい児同士の繋がりが持てる機会を提供するため、保護者やきょうだい児が参加できる行事を実施。同日に保護者会も実施している。
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決規定に則り、第三者委員の設置。苦情受付担当者、責任者を設置し、契約時に重要事項説明書にて保護者へ説明している。苦情があった際は、規定に則り対応している。
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年に数回活動の様子を載せた会報を作成し、配布している。行事予定等に関しては別途必要に応じてお知らせを配布している。
	㉓	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報取り扱い規定に則り、注意して扱っている。また、利用契約時に個人情報の取扱いに関する同意書を交わし、同意された範囲内で個人情報を使用している。
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者の状況に配慮しながらも、できる限り直接対話を心かけている。必要に応じて書面やメールなどを活用している。
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業所に招待する行事は実施していないが、近隣のスーパーやカフェに出かけるなどして繋がりを構築している。
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	○		各種マニュアルの整備は済んでおり、事務所内のいつでも閲覧できる場所にて保管。各種マニュアルの具体的な対応については、保護者へ再度周知するように努めていく。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			建物全体での訓練には参加しているが、訓練実施時間と送迎時間が重なっている為、一部の職員と利用児は参加できていない。独自の訓練実施を検討して行く。
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回法人研修にて実施。
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			法人として要綱、書式様式を整備済み。要綱に則り、3原則に照らし合わせてサービス管理責任者、管理者、ケース担当者が審議し決定。保護者に同意を得た上で個別支援計画に内容を記し、日々の記録をしている。
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		該当者なし。
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例発生後、報告書を作成している。職員間で共有している。